東京を楽しむ
パブリック・マガジン

TR-mag

ティーアール-マグ
TR-magazine

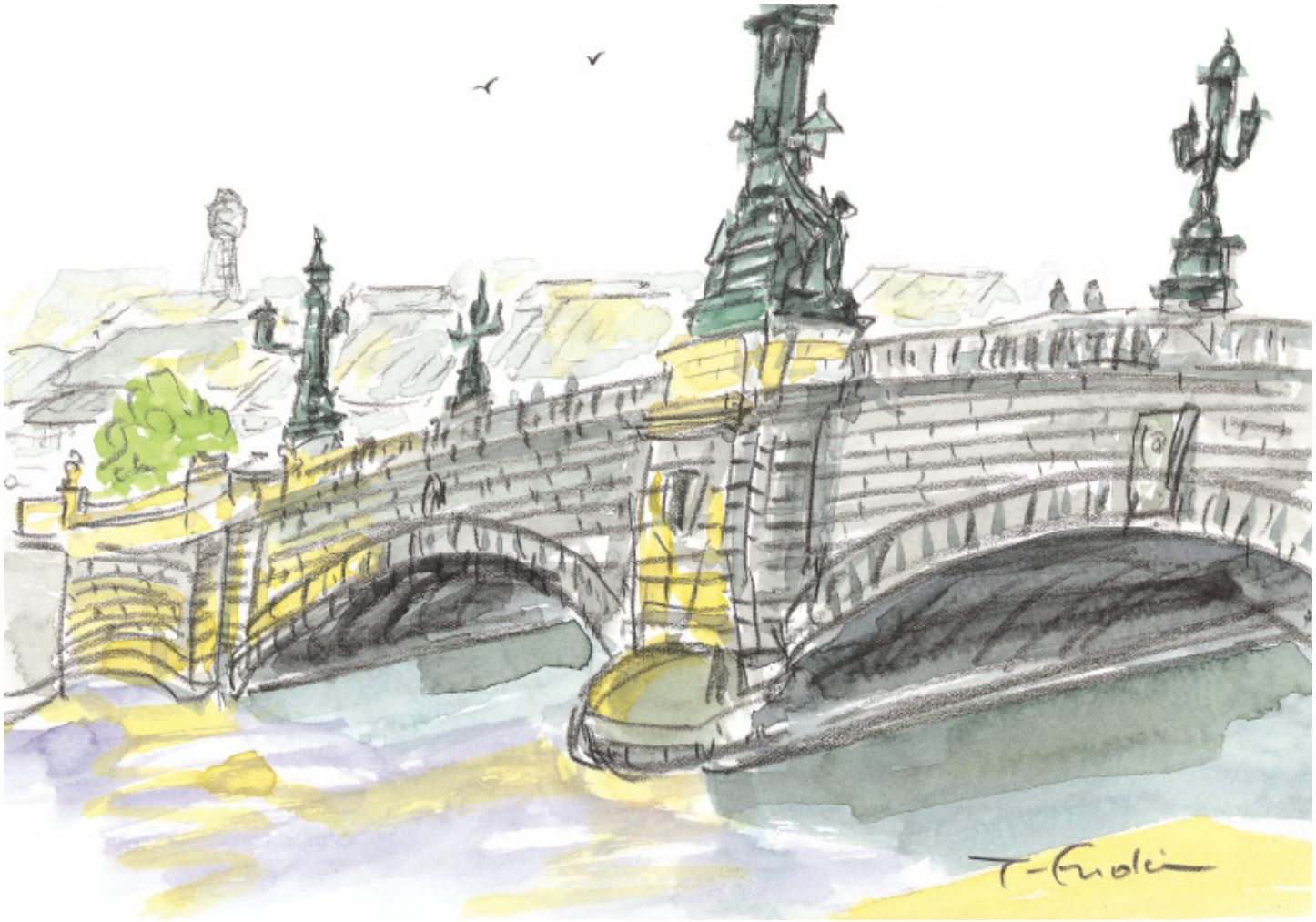
TR-mag.Navigation 東京を遊ぶ

世田谷区を楽しもう!

さんぽのじかん

歌手 坂本冬美さん

東京ふれあいロード・プログラム



公益財団法人
東京都道路整備保全公社
http://www.tmpc.or.jp

NO.23
2011
SPRING

東京を楽しむ
パブリック・マガジン

TR-mag.
ティーアール・マグ
TR-magazine

Contents

2 東京Michi百景
成城学園前駅北側のサクラ並木

3 TR-mag.Navigation　東京を遊ぶ
Scene23　**世田谷区を楽しもう！**

6 **EVとハイブリッド車によるカーシェアリングを実施しています！**

7 エッセイ　さんぽのじかん
寄り道を楽しんできた“歌のさんぽ”　— **坂本冬美さん**

9 TR-mag.Topics
公社主催の見学ツアーを実施！

11 道物語・「東京・まち・今昔」⑥
変わりゆく三軒茶屋周辺

13 池波正太郎の舌鼓　第4回　**重金敦之**
前川の「蒲焼き」

15 TR-mag.Focus
東京ふれあいロード・プログラム
参加団体訪問-23／湯島花いっぱいの会（文京区）
TR-mag.focus Again!／グリーンロードシックス（港区）

17 Information & News
公社駐車場がオープン!
「オートバイ駐車場に関するアンケート」結果報告
東京都道路整備保全公社は、「公益財団法人」になりました! ほか

19 **TR東京都道路整備保全公社の事業の仕組み**

21 クロスワードパズル⑱
クロスワードパズルでリフレッシュ!

22 Random Review

TR／ティーアールは、東京都道路整備保全公社の事業を表すブランドネームです。
この冊子は、東京都道路整備保全公社の駐車場事業収益等をもとに制作しています。

表紙・榎木孝明の世界

降り注ぐ初夏の日差しを受けて、その日、日本橋はきらきらと輝いていた。静かな水面に踊る光を追いかけながら、夢中で絵筆を走らせた。

（「初夏の日差し」スケッチ場所：東京・日本橋）

Takaaki Enoki

鹿児島県出身。武蔵野美術大学に学び、劇団四季を経て、NHK朝の連続テレビ小説『ロマンス』主演でテレビデビュー。映画・テレビ・舞台で俳優として活躍する一方、アジアを中心に世界各地の絵を描き続ける。詩画集『光 KOU』・『風 FUU』・『空 KUU』、『東京讃歌』など著書多数。全国各地で個展を開催。
公式HP　http://www.officetaka.co.jp

東京 Michi 百景

成城学園のお屋敷街は 多くの文化人に愛されるサクラの名所

田園調布と並び東京屈指のお屋敷街として有名な成城学園。
『成城学園』の学園都市として誕生したこの街の凛とした佇まいは、
ここに暮らし街づくりにも深く関わった柳田国男をはじめ、
多くの文化人に愛されてきました。
プラタナス並木やイチョウ並木とともに『せたがや百景』に選ばれている
美しいサクラ並木は地元の人たちにサクラの名所として親しまれています。
閑静な街並みを華やかに包み込むサクラは、
ここを訪れる多くの人を別世界に誘ってくれます。

明治の末ごろまでは北多摩郡砧村大字喜多見と呼ばれていたが、大正14年(1925)に成城学校(現、成城中・高等学校)からこの地に分離独立してきた成城学園が名前の由来となった。柳田国男、野上弥生子、大江健三郎、大岡昇平、川上宗薫、中河与一、水上勉、横溝正史らが移住し、文士村の様相を呈していたが、近年は都内屈指の高級住宅地として、芸能人をはじめ著名人が数多く住む。九丁目まであるが、駅周辺、特に北口の成城五丁目・成城六丁目と南口の成城二丁目・成城三丁目あたりは高級住宅街が広がっている。

DATA

TR-mag.Navigation 賢く駐車場を利用して東京を遊ぶ Walk in Scene23 世田谷区を楽しもう!

※取材協力／世田谷区広報広聴課

高級住宅街、若者文化発信地、緑豊かな等々力渓谷……、様々な顔を持つ世田谷区。今回は世田谷区広報広聴課の盛川美沙子さんと稚井健之さんに、二子玉川エリアの魅力あふれるスポットを案内していただきました。パーク&ライドや駐車場を上手に活用して、のんびりと街の散策を楽しみましょう!

国分寺崖線が世田谷自慢の風景をつくり出しています

世田谷の歴史は古く、徳川家康が関東に入国すると、ほとんどの村がその直轄領となり、新田畑の開発が進み飛躍的に生産力がアップしていきました。昭和7年(1932)に、世田谷町・駒沢町・玉川村・松沢村の2町2村を統合して世田谷区が誕生し、昭和11年(1936)に千歳村と砧村が編入され、現在の世田谷エリアとなりました。

そして今、二子玉川エリアは、通称「ニコタマ」と呼ばれ人気の街として注目されています。

実はこの二子玉川エリアは国分寺崖線と呼ばれる立川市から国立市、国分寺市、府中市、小金井市、三鷹市、調布市、狛江市、世田谷区を通って大田区まで続く、延長約30kmにおよぶ高さ10~20mほどの崖の連なりです。

国分寺崖線は、多摩川が10万年以上かけて武蔵野台地を削り取ってできたものです。「国分寺」という名前から、中央線沿線エリアだと思われがちですが、この国分寺崖線は、世田谷区内の南西部に野川と多摩川に沿って約8km続き、世田谷区の「みどりの生命線」と呼ばれています。

二子玉川エリアの散策は東京23区で唯一の天然渓谷等々力渓谷からスタート

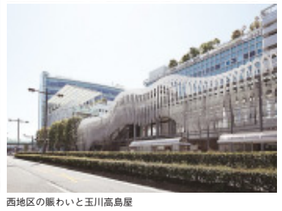
東急大井町線の等々力駅から南に少し行くと大きなケヤキの木とお豆腐屋さんがあります。その間の道を右折すると右手がもう等々力渓谷公園の入り口です。武蔵野の豊かな自然が色濃く残る等々力渓谷は、国分寺崖線の南に位置する全長約1kmにおよぶ都内唯一の渓谷。階段を下りるとゴルフ橋と呼ばれる赤い橋の袂に出ます。深緑の樹林の中を谷沢川のせせらぎを聞きながら歩いていると、ここが都内だということを忘れてしまうほど、静謐な空間が広がります。

椎児大師堂

多くの植物や生物が見られる自然の宝庫・等々力渓谷は、季節ごとに美しい表情を見せてくれるお薦めのスポットです。

玉川東陸閘からの「二子玉川ライズ」

「二子玉川ライズ」


西地区の賑わいと玉川高島屋

「がやリン」で世田谷散策をもっと自由に楽しもう!!

世田谷区が推進するコミュニティサイクルポート「がやリン」は、桜上水南、経堂駅前、桜新町、等々力の4ヵ所に設置されています。「がやリン」は貸出・返却先が選べる仕組みになっているので、たとえば、等々力で自転車を借りて桜新町のサザエさん通りや長谷川町子美術館などに行き、桜新町で返却することができます。電動アシスト自転車もあるので、アップダウンの多い世田谷もラクラク快走!「がやリン」でさわやかな風を感じながら世田谷散策というのも良いのでは。

ニコタマの新しい顔「二子玉川ライズ」が誕生!!

等々力渓谷を後に東急大井町線で二子玉川へ。多摩川の流れと都会的な街並が広がる二子玉川は、明治40年(1907)に渋谷とこのエリアを結ぶ路面電車の玉川電気鉄道の開業を機に行楽地として賑わっていきました。その間に駅名は二子読売園、二子玉川、二子玉川園、二子玉川と変遷を繰り返してきました。ちなみに、二子玉川という地名はなく、神奈川側の二子村と、東京側の玉川村の名前が組み合わさったものと言われています。二子玉川で今、注目されているのが昭和57年(1982)から進められてきた駅東地区の再開発で、二子玉川の新しい顔として誕生した「二子玉川ライズ」。平成23年3月に、二子玉川ライズ・ショッピングセンター、オークモール、バーズモール、プラザモール、駅西側に隣接するドッグウッドプラザが次々とオープン。二子玉川の新たなページが開かれました。多摩川をモチーフとした川の流れや小石、茂るアシなどが表現され、二子玉川らしさが演出される駅東地区から目が離せません。

玉川東陸閘は土手の一部を切断した開閉自在の防御壁!

二子玉川ライズから多摩川堤通りをわたった正面に、土手の一部が切断された門のような道があります。ここが玉川東陸閘(たまがわひがしりっこう)。以前、東地区には料亭が多く、多摩川沿いに堤防を築く時に、料亭から多摩川の景色が見えるようにしてほしいという声が上がり、料亭街を除いて堤防を築き、洪水の時には料亭街の人たちはこの道を通り、その後に防御壁で閉じるようにしたそうです。土手道は約500mの桜並木が続く散策路になっているお花見スポットとして有名です。

玉川東陸閘を抜けると目の前が多摩川です。右に曲がった左手の玉川福祉作業所前に、二子の渡し跡の碑があります。この辺りにはかつての大山道の渡しがありました。二子の渡しは、大正14年(1925)に二子橋が完成するまで利用されていました。

東急田園都市線をくぐった左手の兵庫島公園は、野川と多摩川の合流点にある水と緑に親しめる公園です。昔、新田義貞の子、義興が上野国から鎌倉へ向かう途中、敵に騙されて最期を遂げ、その家臣、由良兵庫助の首が流れ着いたという言い伝えから、兵庫島と言われるようになったそうです。

兵庫島公園から厚木街道を目指す途中、ちょうど玉川高島屋S・Cの裏手に京都の町家を再現した「柳小路」というユニークな街並があります。ちょっと寄り道するのも良いかもしれません。

厚木街道を渡った小道を多摩川堤通りに向かい、二子玉川小学校の信号を渡ると和菓子屋や豆腐店などが建ち並ぶ昔ながらの二子玉川商店街が、今も健在です。

玉川東陸閘の桜

二子玉川商店街

兵庫島公園
多摩川の対岸は川崎市

二子の渡し跡の碑

二子玉川商店街や駅西側の多摩川河川敷は、ドラマ「ROOKIES」の「二子玉川学園(通称ニコガク)」のロケに使われたそうです。

旧大山道の慈眼寺ルートで神社仏閣巡りをしてみよう!

二子玉川商店街をまっすぐに進むと次大夫堀(じだいぶぼり)に出ます。ここは徳川家康が六郷地方の米の増収のために、代官・小泉次太夫に命じて切り開いた潅概用水で、世田谷の人たちはその名をとって次大夫堀と呼んでいました。ちなみに橋は治大夫橋です。

次大夫堀からの急な坂道は旧大山道の慈眼寺ルート。坂の中腹の左手にある急な石段を上ると瀬田玉川神社の社殿です。古墳の上に建てられたこの神社は、かつて瀬田城

主であった長崎家によって社殿が造営されました。

瀬田玉川神社の境内を出るとすぐ隣が慈眼寺です。この寺は鎌倉時代の末に、法印定音が小さな堂を建立し、天文2年（1533）に長崎家により国分寺崖線の上の現在地に移され、大日如来を本尊として安置して慈眼寺と称するようになりました。弘法大師有縁の古刹を巡る玉川八十八カ所霊場巡拝の第三十七番霊場札所でもあります。

慈眼寺の山門前の坂道を下り、旧大山道を渡った右手の瀬田教会の正門の左側に将監山遺跡の石柱が立てられています。ここは昭和49年（1974）に縄文式土器が発掘され、昭和57年（1982）には先土器時代のナイフ形石器や縄文・古墳時代の土器等が出土しました。

この界隈にはこの他にも多くの神社仏閣があります。それぞれの歴史、由緒を尋ねてみるのも面白いのでは。

武蔵野の面影を色濃く残す「きしべの路」には、ゆったりとした時間が流れています

旧大山道を再び次大夫堀に戻り、右手の丸子川沿いを岡本公園民家園に向かうと、

次大夫堀

瀬田玉川神社

将監山遺跡の石柱

慈眼寺の六地蔵

玉川八十八カ所霊場巡拝の第三十七番霊場札所である慈眼寺

慈眼寺の山門前の坂道を下り将監山遺跡へ

丸子川親水公園

かつての筏道で、この道は丸子川親水公園として整備され、世田谷の自然をのんびりと楽しむことができます。右側に緑豊かな岡本静嘉堂緑地が広がるこの散策路は「きしべの路」と名付けられています。

その隣が岡本公園民家園です。茅葺きの民家と白壁の土蔵は、瀬田に残されていた江戸時代中期に建てられたという古民家を移築復元したものです。茶の間の囲炉裏でお茶を飲むこともできます。

岡本公園民家園の裏口から岡本八幡神社の参道に出ると、左手に岡本八幡神社の鳥居があり、その先にエっ？と思わず声が出てしまうような急な石階段が境内へと続きます。国分寺崖線に建つこの神社の石段はほんとうに半端ではありません。鎮守の杜に囲まれた小さな社殿は、昔の物語に出てくるような懐かしさを感じさせてくれます。

岡本公園民家園／世田谷区岡本2-19-1
開園時間：9時30分～16時30分
入園無料
休園日：月曜、年末年始（元旦は開園）
問合せ：03-3709-6959
2011年6月末までは茅葺き替えと耐震改修工事中です。

岡本八幡神社の急な石階段

岡本八幡神社

二子玉川エリア散策の締めくくりは静嘉堂文庫です

岡本八幡神社の裏手から静嘉堂文庫へと続く抜け道があります。水と緑に恵まれた岡本静嘉堂緑地、もとは三菱の岩崎家が所有する広大な庭園です。敷地内には静嘉堂文庫と静嘉堂文庫美術館があります。

静嘉堂は、岩崎彌之助と小彌太の父子2代によって設立され、国宝7点、重要文化財83点を含む、およそ20万冊の古典籍（漢籍12万冊・和書8万冊）と6,500点の東洋古美術品を収蔵しています。静嘉堂の名称は中国の古典『詩経』の句から採った彌之助の堂号だそうです。

静嘉堂創設百周年に際して建設された静嘉堂文庫美術館は、平成4年（1992）に開館しました。世界に3点しか現存していない中国・南宋時代の国宝「曜変天目茶碗（稲葉天目）」をはじめとする所蔵品を、年間4～5回の展覧会でテーマ別に公開しています。

武蔵野の面影を色濃く残した庭園は、四季折々のさまざまな樹木や花々を楽しむことができます。展覧会を鑑賞したあとは、ゆっくりと武蔵野の散策を楽しんでみるのも良いものです。◆

静嘉堂文庫美術館／
世田谷区岡本2-23-1
開館時間：10時～16時30分
（入館は14時まで）
休館日：毎週月曜（祝日の場合は開館し翌火曜日休館）12月～2月、7月下旬～9月は、展覧会以外は休館。
入館料：一般800円、
大高生500円、
中学生以下無料（一般・大高生は20名以上団体割引あり）
問合せ：03-3700-0007
※静嘉堂文庫は、原則として内部は非公開となっています。

6/12まで「日本陶磁名品展」開催中

砧公園の中にある世田谷美術館で、一日をゆっくりと楽しみましょう

昭和61年（1986）に開館した世田谷美術館は、四季折々の変化が美しい緑豊かな砧公園の一角にあります。この恵まれた自然環境を生かした美術館は、訪れる人たちをリラックスさせる空間となっています。様々な展覧会やイベントなどを企画し、誰もが芸術に触れられる機会を提供しています。ライブラリーやレストラン、ミュージアムショップなどで、一日ゆっくりと楽しむことができる美術館です。

世田谷美術館／世田谷区砧公園1-2
開館時間：10時～18時（入館は17時30分まで）
休館日：月曜日（祝日の時はその翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）ただし、展示替の期間中は、企画展・ミュージアム コレクション展示室の両方を閉める場合があります。
入館料：一般200円、
大高生150円、
小中生100円、
65歳以上100円
（小・中学生は土曜、日曜、休日、及び夏休み期間は無料。団体割引は20名以上）
問合せ：03-3415-6011

楽しいイベントが目白押しの世田谷区へGO！

■主な世田谷区のイベント

5月
5日／ミニSL子どもの日無料開放
世田谷公園（池尻1-5-27）内を走るミニSLに無料で乗れます
21日・22日／せたがやガーデニングフェア2011
馬事公苑前けやき広場（上用賀2-3）

7月
6～10日／下北沢音楽祭
下北沢のまちが、音楽で満たされる日

8月
6日・7日／第34回ふるさと区民まつり
毎年、40万人以上が訪れる世田谷区の夏の恒例のイベント

10月
15日・16日／世田谷アートタウン2011「三茶 de 大道芸」
三軒茶屋のまち全体を会場とし、世界トップレベルの大道芸が行われるイベント

12月・1月
15日・16日／世田谷のボロ市
430年以上続く庶民の年中行事で、毎年12月と1月の15・16日の年2回開催され、東京都の無形民俗文化財にも指定されている。

●イベントに関するお問い合せは
世田谷区政策経営部広報広聴課
03-5432-2010

二子玉川エリアの散策で一番の驚きは、都内の住宅地に、こんなにも多くの自然が残っているということ。そして楽しみなのは、二子玉川の新しい顔として誕生した「二子玉川ライズ」のこれからです。世田谷区には、まだまだたくさんの見所があります。気分に合わせて散策コースを決め、街歩きを楽しんでください。

※掲載データは2011年4月20日現在のものです。

EVとハイブリッド車による カーシェアリングを実施しています！

実施期日
平成23年3月1日から
平成25年3月31日
（予定）まで

TR東京都道路整備保全公社は、EV（電気自動車）の普及拡大への協力として、公社駐車場への急速充電器の設置を進めています。
このたび、更なるCO_2削減に向けた取り組みとして、急速充電器を設置した5箇所の駐車場でEVカーシェアリングを実施します。同時に配置するハイブリッド車と併せ、短距離はEV、長距離はハイブリッド車と車種の特性を活かした実用的なカーシェアリングを提供します。
また、1箇所については、公社が業務利用しているEVをカーシェアリング車両とし、業務時間外に都民等へ貸し出すモデル事業を実施します。

六本木（錦糸町パークタワー、丸ノ内鍛冶橋）に配備された日産リーフ。

モデル事業使用EV

2月28日には、実施に先駆けて、EVカーシェアリングお披露目会を六本木駐車場で開催。MXテレビをはじめメディアの取材もあり、カーシェアリングへの注目度の高さが伺えました。

■実施駐車場及び使用車種

駐車場名	所在地	カーシェアリング車両		備　考
		EV	ハイブリッド車	
西新宿第四（都庁近く）	新宿区西新宿2-4	三菱自動車i-MiEV1台※	本田技研工業FIT ハイブリッド1台	※公社所有EVを活用したモデル事業は平成24年2月末まで
錦糸町パークタワー（ＷＩＮＳ錦糸町近く）	墨田区江東橋3-5-16	日産自動車リーフ1台	本田技研工業FIT ハイブリッド1台	
丸ノ内鍛冶橋（東京国際フォーラム近く）	千代田区丸の内3-8-2	日産自動車リーフ1台	本田技研工業FIT ハイブリッド1台	
六本木（六本木アークヒルズ近く）	港区六本木1	日産自動車リーフ1台	本田技研工業FIT ハイブリッド1台	
上板橋（環七・川越街道交差点）	板橋区南常盤台1-1-3	三菱自動車i-MiEV1台	なし	

■カーシェアリング運営事業者
オリックス自動車株式会社

■利用条件
〈利用時間〉24時間利用可能（モデル事業車両は平日8時～18時まで利用不可）
〈利用料金〉

登録手数料等		6,250円（利用登録手数料5,250円、ICカード発行手数料1,000円 ICカード登録手数料 無料）		
プラン		Aプラン	Bプラン	Cプラン
月額基本料		2,000円／口	1,000円／口	無料
EV	時間	150円／15分	250円／15分	150円／15分
	距離	30円／km		
ハイブリッド車両	時間	200円／15分	300円／15分	200円／15分
	距離	15円／km		

※利用の多寡に応じてAプラン、Bプランを選択できます。

〈利用方法〉①携帯・iPhone・パソコン・電話（フリーダイヤル）で予約
②ICカードで車両の施錠を解除し、利用開始
③利用の後、車両を所定スペースに戻し、返却終了

■会員加入申込先
利用にはカーシェアリング運営事業者への会員登録が必要となります。

オリックス自動車株式会社
●ホームページ
http://www.orix-carshare.com/　検索
またはフリーダイヤル 0120-041-493

■その他
・上板橋以外のEVカーシェアリング実施駐車場では、ハイブリッド車によるカーシェアリング（利用料金はEVと異なります。）を併せて導入します。短距離利用は時間料金が安いEV、長距離利用は距離料金が安いハイブリッド車両と、利用形態に応じ、使い分けられるようになっております。
・公社社有EVを公社と都民が共同で利用するモデル事業により、法人車両の共同利用化における課題や、経済的効果等を検証します。
・モデル事業は、平日の8時から18時までは、公社が業務利用し、平日18時から翌朝8時及び土日祝祭日は、都民等がカーシェアリング車両として利用します。

●お問い合わせ先　総務部公益事業課公益事業係 03-5381-3368

さんぽのじかん

寄り道を楽しんできた“歌のさんぽ”

私にとって「さんぽとは心のゆとり」。

不器用な性格の私は、仕事の日は一歩、家の外に出ると完全に仕事モード。他のことは何も考えられなくなってしまうんです。移動の車でも、常に歌いながら予習・復習しているので、のんびりと外を見る余裕もありません。東京にいる時は休日も仕事モードが抜けず、たまに買い物に出かけても、ゆっくりウインドーショッピングというよりは、目的地に一目散に行って、買ったらまた次の目的地に、という感じ……。仲の良い友達には「まるでランナーだね」と言われたりしています（笑）。まだ〈心のゆとり〉が無いから景色や道に咲いている草花をめでる余裕がないのかな～。

そんな私の数少ないさんぽの思い出が猪俣公章先生の内弟子時代の日課だった柴犬のリュウとのさんぽ。このさんぽが私の1日のスタートで、洗足池の周りを2周3周と回っていました。洗足池は桜がとっても綺麗で、私が上京した頃がちょうど満開の時期だったので「東京はビルばっかりのイメージだったけど、こんなに緑が多いんだ」とホッとしたのを今でも覚えています。

猪俣先生のお宅から見えるライトアップされた幻想的な洗足池の桜は大好きでした。でも先生は〈花よりお酒〉でしたけどね（笑）。東京の完璧に整えられた華やかな桜も素晴らしいですが、私の故郷・和歌山の山桜も決して負けていないと思っているんです。あの力強い姿は私にいつも勇気を与えてくれます。

のんびりと景色を楽しみ、寄り道をしながら歩くというさんぽはあまりしていないのですが、〈歌のさんぽ〉では寄り道をたくさんして楽しんできました。子供の頃から歌、特に演歌が大好きで、師匠の猪俣先生の作品を歌って来ました。でもデビュー2年目に〈ロックのキング〉である忌野清志郎さんに出会って、清志郎さんのアルバムに参加させてもらいました。右も左も分からなかった私が「ロックってどうやって歌ったらいいんですか？」と清志郎さんに訊ねると、「コブシを効かせた演歌のままの冬美ちゃんでいいよ」との一言に、少しだけ肩の力が抜けて、いつものように気持ちを込めて思いっきり歌うことが出来ました。「ロックという世界に足を踏み入れても、自分のアイデンティティである演歌のスタイルで行けばいいんだ」ということに気づき、凄く自信になりました。

その後、『夜桜お七』という演歌の世界では斬新な歌にも出会いました。宇崎竜童さんとは演歌とレゲエのコラボである『蛍の提灯』、中村あゆみさんが作詞作曲したロックな感じなのに和楽器をふんだんに使っている『アジアの海賊』や『また君に恋してる』など、気が付いたら様々なジャンルの方々とも様々なコラボをさせてもらいました。こうした経験は、私が演歌を歌っていく上でかけがえのない財産になっています。演歌が大好きで、演歌でデビューした私にとってこれが最高のさんぽなんだなと思っています。

実は近い将来に和歌山に拠点を置いて、和歌山から仕事に通いたいと秘かに計画しています!! 仕事のない時は、野菜を育てたり近所の人に魚をもらって自給自足の生活で、ジャージにすっぴんで、思うままに歩きたいんです。私の子供の頃の母みたいに、歩きながらツクシやフキノトウを摘んで、それを美味しく料理して食べる。考えただけでウキウキしてきます。そうなったらもちろん犬も飼いたいですね。猪俣先生の真似をして柴犬にしようかな（笑）。

私にはそのイメージがはっきりと見えています。でも、デビューから25年間ずっと仕事モードで走ってきて、喜び・悲しみ・悔しさ・楽しさの全てを教えてくれた歌を辞めることは絶対にできません。コンサートに来てくださったお客様から「楽しかったよ」「また明日から頑張る元気をもらったよ」と声をかけてもらうのは私にとって何よりの幸せであり、1番のカンフル剤なのです。でも、これからはちょっとだけ走るスピードを緩めて、ゆっくりと寄り道をしながらのさんぽを楽しめるような〈心のゆとり〉を持って歌と一緒に過ごしていけたらいいな、と思います。そんな生活はちょっと贅沢すぎですかね⁉

歌手 **坂本冬美** さかもと・ふゆみ

1967年和歌山県生まれ。中学、高校時代ソフトボール部に所属。キャッチャーとして活躍すると同時に、チームのキャプテンとして仲間からの信望を集める。卒業後、出身地である和歌山の名産「紀州の梅干し」の会社に入社。塩分等を調べる検査員のアシスタントとなるが、1986年度のNHK「勝ち抜き歌謡天国」（和歌山大会）名人、同年「関西演歌大賞カラオケコンクール」に優勝し、「勝ち抜き歌謡天国」の歌唱指導を担当していた故・猪俣公章氏のすすめで上京。1986年4月から11月までの8カ月間、内弟子としてレッスンを受けるかたわら、先生の運転手、料理、生活面でもいろいろな経験を積む。1987年に『あばれ太鼓』でデビュー。1991年に細野晴臣、忌野清志郎と「HIS」を結成するなど、ロックミュージシャンとの親交も深い。2002年に1年間芸能活動を休止したが、翌年4月に復帰。2009年1月に『アジアの海賊』のカップリングで発売した『また君に恋してる』が、ダウンロード数250万超、CD売上40万枚の大ヒットとなる。年末の第60回紅白歌合戦出場、第51回「輝く!日本レコード大賞」優秀作品賞受賞。現在も日本を代表する演歌歌手として、幅広い年代から熱い支持を受け続けている。2011年5月17日に３年ぶりの純演歌　「桜の如く」をリリース予定。

TR東京都道路整備保全公社主催

公社主催の見学ツアーを実施！

TR東京都道路整備保全公社では、普段見ることのできない、道路に関連した工事現場や施設を見学していただく、様々な見学ツアーを実施しています。

学生向け!見学ツアー開催

Visit Tour For Student

平成23年2月16日（水）と2月24日（木）の2日間、大学生、大学院生を対象とした、学生向けの見学ツアーを開催しました。

学生向け!井荻トンネル換気施設見学ツアー

■平成23年2月16日（水）

平成9年（1997）に開通した環状八号線の井荻トンネルは、全長約1300mという都内最大級の都市内トンネルです。今回のツアーでは、地上35mの換気塔2基を有するトンネル換気施設の仕組みの見学に加え、付近の環状八号線道路をバスで巡りました。

井荻トンネル施設の概要説明

環状第八号線・井荻地区立体化の模型

粉じん装置の制御盤

排風機

井荻トンネル内に約50m間隔である泡消火栓

環状八号線道路をバスで見学

井荻トンネルの外回り線と内回り線には、約200m間隔で非常口（中壁）があります。

地上35mの高さの井荻トンネル換気塔。西武新宿線を挟んで南北の中央分離帯の中に2カ所設置されています。

練馬春日町トンネル

練馬トンネル

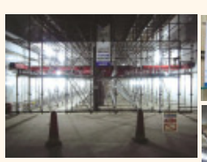
北町若木トンネル

学生向け!環状二号線新橋・虎ノ門地区工事現場見学ツアー

■平成23年2月24日（木）

環状二号線新橋・虎ノ門地区は、地上200mを超える超高層ビルを建設する再開発事業や立体道路制度などを活用して計画幅員40mの道路整備が進められています。今回のツアーでは、トンネル道路となる本線部の現状を中心に見学しました。

完成したら車道となるトンネル内を歩いて見学したことは、貴重な体験となりました。



平成25年度の完成を目指して現在工事が進められている。

ここから第一京浜という表示も工事中ならではのもの。

見学した箇所をあらためて地図で確認しながら補足説明を受けました。

抽選で選ばれた26名が参加して、「首都高速中央環状品川線工事現場見学ツアー」を実施!

平成23年3月2日（水）に、「首都高速中央環状品川線工事現場見学ツアー」が開催されました。このツアーは一般の方を対象にしたもので、約15倍という高倍率の中から抽選で選ばれた26名が参加。平成25年度の完成を目指して工事が進められている中央環状品川線の大井北立坑を見学しました。

りんかい線品川シーサイド駅に集合し、受付。

注意事項等の説明後、歩いて東京都第二建設事務所の品川線建設事務所 大井工事事務所へ移動。

ツアー参加者は京浜運河を歩いて渡る貴重な体験もしました。後ろに見えるのは、東京モノレールの線路です。

Lecture

東京都第二建設事務所の長尾さんから、平成25年度の完成を目指している首都高速中央環状線の概要とこれから見学する工事現場について、スライドやDVDを交えて説明をしていただきました。

見学のために用意されたパンフレット類。

安全のためにかかせないヘルメットと軍手。

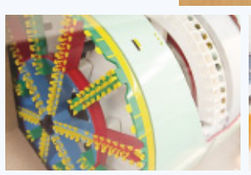
イヤーホーンを装着して、見学準備完了。

模型室見学

ほぼ全線に「トンネル構造」が採用されている中央環状線の全容がわかる模型。ここでもポイントごとに長尾さんから説明がありました。

自由見学となった模型室でも担当者へ次から次に質問があり、参加されている皆さんの首都高速中央環状線整備への期待の高さが伺えました。

シールドマシンの歯の部分の構造をわかりやすくした模型。約1,000の歯がついているそうです。



大井北立坑

立坑を上から見学。約30mという工事現場の深さに見学者から驚きの声が。

工事現場まで足下に注意して慎重に移動。

シールドマシンの真ん中に小さく見えるのが作業をしている人たち。直径13.6m、重さは1,500tもあるそうです。

1日に約10m掘り進むシールドマシン。ツアー参加の思い出に記念撮影をする参加者も多かったです。

大井ジャンクション。1日も早い完成を目指して、工事が進められています。

Impression 参加者の声

参加された皆さん、お疲れさまでした！

「実際に工事現場を見学してとにかく感動しました。工事をされている皆さんのご苦労もわかりましたので、この道路が完成しましたら感謝を込めて通らせていただきたいと思っています」と姉妹で参加された岡田さんと森さん。

「テレビなどでトンネルを掘るシールドマシンがよく取り上げられていましたので、興味があり参加しました。今日は運良くシールドマシンを間近で見ることができましたので、本当に嬉しかったです」と工藤さん。

「横浜から新宿間を車で移動することが多いのですが、渋滞が解消されるということですので、完成が待ち遠しいです。今しか見られない工事現場を見ることができたこともラッキーでした」と夫妻で参加された神田さん。

変わりゆく三軒茶屋周辺

キャロットタワーは、渋谷以西の246通りのランドマークタワー的存在

三軒茶屋跡の案内板

大山道標

三軒の茶屋から始まった三軒茶屋に、坂本龍馬も訪れていたかもしれません!?

三茶（サンチャ）の愛称で親しまれる「三軒茶屋」は、常に住みたい街ランキングの上位にあり、世田谷区の中でも1・2の人気エリアです。三軒茶屋には江戸時代、今の世田谷通りと玉川通り（国道246）の交差するあたりに、信楽（後の石橋屋）、角屋、田中屋という三軒の茶屋があり、文字通り三軒の茶屋から始まったと言われています。江戸時代の中頃から盛んになった丹沢の大山阿夫利神社参拝への大山道の分かれ道にあたっており、いつしか人々から三軒茶屋と呼ばれるようになったようです。これらの茶屋には2階に座敷があり、江戸に向かう坂本龍馬が密かに泊まったという言い伝えもあります。

明治40年（1907）、玉電（玉川電気鉄道）が最初に開通したのは道元上坂～三軒茶屋間でした。これが世田谷に初めて鉄道が開通した時です。江戸時代、大山道の分岐点として賑わった交通の要衝・三軒茶屋は、こうして新しい時代を迎えました。三軒の茶屋は玉電の開通後もしばらくは健在だったようですが、時代とともになくなりました。

いくつもの困難を乗り越えてきた三軒茶屋のパワーは商店街にありました

大正12年（1923）9月1日、関東地方南部を襲ったいわゆる関東大震災により、死者・行方不明者10万5000人余り、家屋の全壊10万9000戸、焼失21万2000戸という未曾有の大災害が起こりました。この震災後に、都心で家を失った人たちが玉電の通る交通の便の良い三軒茶屋に多く移り住むようになり、商店街も急速に発展し、世田谷の繁華街として成長していきました。昭和7年（1934）に世田谷区が誕生した時に、それまでの駒沢町から独立して三軒茶屋町となりました。

玉電の開通により急速に宅地化が進んだ三軒茶屋界隈には、家賃の安い貸家が多く、作家の卵たちが住むようになりました。三軒茶屋、太子堂の界隈には、平林たい子、壺井栄、佐多稲子、林芙美子などが住んでいました。林芙美子は不遇な時代を太子堂の路地界隈にあった二軒長屋で過ごし、処女作『放浪記』に、太子堂での貧しくても笑いの絶えない仲間たちとの日々が描かれています。

昭和20年（1945）3月10日、東京大空襲によって東京中が焼け野原と化した時、軍事施設のあった三軒茶屋周辺も被災し、戦前からの三軒茶屋の繁華街は壊滅しました。戦後間もなく、大山道の分岐点の三角形の土地に闇市ができ、三軒茶屋近くの砲兵連隊の跡地には仮設のバラック住宅が建てられ、満州大陸から引き揚げた人々が住みはじめました。その消費需要を一手に引き受けたのが、この三角地の闇市商店街でした。やがて商店街は三角地から三軒茶屋銀座通り、世田谷通りへと伸びていきました。商店街の近くには住宅地が広がり、アパートやマンションが次々と建ち始めました。こうして三軒茶屋は、戦前より遥かに大きく、活気のある街へと成長していきました。

アートタウンとして注目される三軒茶屋

昭和39年（1964）年、アジアでの初めてのオリンピックとして、東京オリンピックが開催されました。オリンピックは日本の高度経済成長の象徴であり、戦後の日本が再び国際社会に復帰するシンボルとしての役割を担っていました。東京オリンピック開催に向けて日本中が動き始め、駒沢オリンピック競技場が整備され、三軒茶屋も国道246号の上を高架の首都高速が走り、都市の景観も一変しました。そして、玉電の名で親しまれてきた玉川線も、世田谷線区間を残して廃止されました。三軒茶屋エリアは関東大震災、東京オリンピック、バブル経済時代を大きな転換点として変貌を遂げてきました。

作家・村上春樹は『1Q84』の中で、主人公の青豆が砧からタクシーを拾い用賀から首都高に乗り、三軒茶屋あたりで渋滞に巻き込まれてタクシーを降り、高速道路の非常階段から国道246号線に降り、東急新玉川線の三軒茶屋駅に向かうという描写で三軒茶屋を登場させています。

そして時代は流れ、平成8年（1996）に三茶のランドマーク・キャロットタワーが三軒茶屋の三角地の隣に完成しました。中にはパブリックシアターの大小二つの劇場もオープンし、毎年秋には三茶de大道芸などのイベントが開催され、芸術や文化を創造する「アートタウン」としても注目されています。

三軒茶屋にはほっとする小路がたくさんあります。三軒の茶屋から始まった街は、昔も今も変わらず、訪れる人たちを温かく迎えてくれます。

三軒茶屋駅前（1992年）写真提供／世田谷区

レトロな雰囲気の三軒茶屋中央劇場

キャロットタワーの26階にある展望フロアから見た世田谷線

三軒茶屋のレンタサイクルポート

三軒茶屋駅前（1985年）写真提供／世田谷区

三軒茶屋駅前（1975年）写真提供／世田谷区

三軒茶屋　玉川通り（1958年）写真提供／世田谷区

三軒茶屋交差点より渋谷方向（1958年）写真提供／世田谷区

三軒茶屋交差点より世田谷通り方向（1958年）写真提供／世田谷区

池波正太郎の舌鼓 第4回

前川の「蒲焼き」

重金敦之

東京に生まれ育った人はよく「故郷がない」と言うが、東京浅草生まれの池波正太郎さんは、「私の故郷は誰がなんといっても浅草と上野だ」と胸を張っていた。ある年の夏、駒形橋の上で大川（隅田川）の川面を見ていたら、あっという間に二時間ほどが過ぎていたと、エッセイに書いている。

駒形橋西詰の「駒形堂」の前にたたずむこともあった。その辺りから浅草の観音様方向を望む風景に江戸が最も残っているといって、お気に入りのスポットだった。小説の構想に耽り、江戸時代の夢の中に遊んでいたのかもしれない。

池波さんは子供のころから鰻り職人だった母方の祖父に連れられ、しばしば駒形橋のたもとにある鰻屋「前川」を訪れた。酒のあまり飲めない祖父は鰻が焼けるまでの間をつなぐためにお銚子を注文し、池波少年が相伴したこともあった。

創業は文化文政年間（一八〇四～三〇）で、二〇〇年の歴史を持つ。川魚問屋のかたわら鰻料理の料亭を開いたのが店の始まりだ。その昔は店専用の船着き場があり、川からも店に出入りできた。「前が川」ということでこの店名が付けられたのだという。柳橋の芸者衆が舟でやってきて、夜になると新内流しの舟が行き来した。六代目当主の大橋一馬さんによると、池波正太郎さんは改築する以前の二階にあった大広間の川が見える席を決まって指定していたそうだ。

現在の五階建てのビルは二十年ほど前に改築された。二階から四階までの客席はすべてお座敷で、大川を眺めながら池波好みの鰻が味わえる。入れ込みになっている二階の座敷は、座ると川面と目の高さが同じ案配になり、気分は流れに乗った舟の上だ。行き交う水上バスや屋形船を見ていると、大川を自由自在に猪牙舟で行き来する小説の登場人物が自然と思い起こされる。

駒形橋から上流へ向かい、桜橋を越えた辺りの西岸が橋場で、『剣客商売』の料亭、「不二楼」や『仕掛人・藤枝梅安』のおもんが働く「井筒」などがあったところになり、当時の一等地だった。これらの料亭のイメージは「前川」から借りたのに間違いない。

池波さんが「前川」でよく食べたのは天然鰻の蒲焼きだった。天然ものは土や泥のような独特の香りと、養殖ものに比べ、余分な脂分が少なくさっぱりした味わいが特徴だ。もっとも、天然鰻の国内漁獲量は四十年前と比べると、十分の一程度に減っており、近年生産量に占める割合は0.1％ほどしかない。

「前川」では昭和四十七（一九七二）年ごろまで天然ものだけを使用していたが、数を揃えるのが難しくなり養殖ものも使い始めたそうだ。天然ものは利根川下流でとれる鰻で、味わえるのは五月上旬から十一下旬までと期間が決まっている。常にあるとは限らないから予約が必要で、値段も養殖ものの倍近くになる。

養殖鰻は千葉県銚子にある慶応三（一八六七）年創業の老舗、忠平株式会社が生産している「坂東太郎」というブランド鰻。天然に限りなく近い環境で時間を掛けて育てるというだけあって、さらりと口の中に消えていくような脂がしっかり乗り、うま味もある。しつこさは全くない。天然ものを食べつけている人でなければ十分満足するはずだ。天然ものは個体によって品質のばらつきは避けられないが、養殖ものは常に安定しているという利点がある。

『むかしの味』（新潮文庫）には、〈鰻屋では、念の入った香の物で酒をのみながら、鰻が焼きあがるのを待つのが、もっともよい〉

とある。

「前川」のような名店では客から注文を受けて鰻を焼き始めるので、出てくるまでに小一時間ほどかかる。大川を往来する舟を眺めながら猪口を傾け、鰻が焼き上がるのをゆったりと待つ池波さんの姿が浮かんでくるようだ。

大川を望む「前川」の光景は池波さんにとっての故郷であり、幼時の食卓の記憶でもあった。江戸と東京をつなぐメモリーカードだったのではあるまいか。

来年の春には開業する予定の東京スカイツリーが目の前に立ちはだかり、実に大きく高い。完成後は東京スカイツリー詣での客で店はさらに賑わいを見せるに違いない。平成の世となって大川の水辺をめぐる景観は、なおも変貌を遂げていく。池波さんが、東京スカイツリーを見たら、なんというだろう。

蒲焼
※天然鰻が味わえるのは、5月上旬より11月下旬になります。

季節の香の物

2階座敷からの眺め

3階からの眺めと座敷

鰻 駒形 前川
東京都台東区駒形2-1-29
TEL／03-3841-6314
営業時間／11時30分～21時
（L.O.20時30分）
年中無休
http://www.unagi-maekawa.com/

●アクセス　都営浅草線浅草駅A2出口 徒歩約1分／銀座線浅草駅4番出口 徒歩約3分／東武線浅草駅 徒歩約5分

重金敦之 しげかね・あつゆき

1939年東京生まれ。慶応大学卒業後、朝日新聞社入社。「週刊朝日」編集部在籍時に池波正太郎、松本清張、渡辺淳一など多くの作家を担当した。大学教授を経て、現在は文芸ジャーナリスト。食の分野にも造詣が深く、料理に携わる人たちからの信頼も厚い。著書に『すし屋の常識・非常識』（朝日新書）、『作家の食と酒と』（左右社）など。最新作は『編集者の食と酒と』（左右社）。

―池波正太郎の一冊―

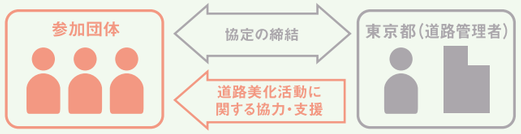
『原っぱ』
新潮文庫・420円（税込）

多くの読者を魅了した時代小説の総集編が、現代の東京に舞台を移した。著者自身を思わせる劇作家の娘、孫を巡る家族の営みを通して、現代の高齢化社会の断面を鋭く切って見せた。池波正太郎が抱く「わがふるさと」東京への愛と憎しみを切々と描いた渾身の「遺言」でもある。

「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してみませんか?

■「東京ふれあいロード・プログラム」とは

地域の住民や企業の皆様と東京都が協力して、道路の清掃や植栽の手入れなどの美化活動を行うことにより、道路利用のモラル向上と潤いのある道路空間の創出を目的とする制度です。



対象となる活動	対象となる活動は、都道で行う次の(1)、(2)に該当する活動です。	
	1	**清掃活動** 清掃活動とは、紙くず・空き缶・吸殻・落ち葉などを拾う活動です。
	2	**緑化活動** 緑化活動とは、植栽の手入れ・花苗の植替え・種まき等を行う活動です。
対象となる団体	東京都内の自治会、町内会、商店会、学校、企業、NPO法人、ボランティア団体等	
活動場所	都道の歩道部分(供用を開始した道路)	
募集期間	随時募集しています	
活動期間	年間を通じて活動することとし、特に期間は定めない。	
活動に係る支援等	原則として、無償で活動していただきますが、活動の補助として、活動用具等の費用の一部支援を受けることができます。 **支援の内容** 活動費の支援(1年間 最高8万円まで)※ 活動区域内へのサイン(表示板)の設置 ※審査の結果、有償団体として認定した団体に限ります。	
認定方法	団体等から、活動を希望する区間(都道)を提示された後、活動の場所等が適切かどうか、東京都が確認した上で認定します。	

●平成23年4月1日現在、121団体が活動しています。情報を公開している活動団体の一覧は、「http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/04_2.html」から確認できます。

●公社では、東京ふれあいロード・プログラム活動団体を対象に、「清掃用具やジャンパー等の物品支援」を行います。物品支援について、詳しくは「http://www.tmpc.or.jp/contents/michi/06.html」から。

■「東京ふれあいロード・プログラム」認定までの流れ

新規参加の場合

参加の申込 → 審査 → 協定の締結 → 支援希望 → 活動に係る支援等
道路美化活動の開始 → 認定証の交付

更新の場合

2月末 → 更新の申し出 → 協定の自動更新(1年間) → 支援希望 → 活動に係る支援等
道路美化活動の開始 → 認定証の交付

活動の継続

●活動団体 ■東京都

■「東京ふれあいロード・プログラム」についてのお問い合わせ

東京都建設局 道路管理部
路政課 管理係【電話:03-5320-5281(直通)】まで。

登場団体募集中!

TR東京都道路整備保全公社では、ティーアール・マグの東京ふれあいロード・プログラムに登場してくださる団体を募集しています。このページは、皆さんの日頃の活動とその思いを紹介していくページです。自薦、他薦を問いません。ご応募をお待ちしています!

■湯島花いっぱいの会の活動スケジュール
主な活動内容/年に4~5回程度の植栽と花壇の維持管理。
毎月2~3回、ゴミ拾い等の歩道清掃。

湯島花いっぱいの会で一緒に活動してみませんか?
土いじりをしてみたい、草花に興味がある。まちをきれいにしたい……
いろいろな思いを持った皆さん、大歓迎です。

活動に参加される皆さんを募集中! 経験がない方も大歓迎です!

丹精込めて育てた花たちが、私たちの活動を見守ってくれています。

御木夏代さん

ゴミを拾ってください!と声をあげなくても、きれいに咲いた花たちが私たちの思いを伝えてくれています。

大村佳世さん

「湯島ハイタウン前を通るとホッとする」、「きれいに咲きましたね」と声をかけてくださる方も多くなっています。

毎年いろいろな花が咲くのを楽しみにされている方が増えているようです。

大村信雄さん

この活動をするようになって最初の数カ月で、目に見えてポイ捨てゴミが少なくなりました。

通勤、通学に利用されている皆さんが、自然にゴミを拾ってくれるようになりました。

秋元多恵子さん

湯島花いっぱいの会 釜井英二さん

草木や花木を育てるだけでなく、自分たちの住む街をもっときれいにしていこう。そんな思いで活動しています。

私たちが住んでいる湯島ハイタウンは、440世帯約千人が暮らす大型マンションで、ここだけで湯島北町会という一つの町会になっています。私も含め、ここに住んでいる人たちの環境問題への意識は、都会に緑を増やすことは大切だとわかっていても、自分から進んで積極的に係っていこうというものではなかったと思います。でも平成19年11月11日付の産經新聞に掲載された、長野県真田町の身近なところから少しずつ始めて成果をもたらした「花壇づくりによる心の教育」という記事を読み、刺激を受けました。そこでまずは、マンション前の春日通りの歩道をきれいにしようと、管轄している東京都第六建設事務所に相談をしました。そして、平成20年4月に東京ふれあいロード・プログラムに認定されたと同時に、湯島花いっぱいの会の活動がスタートし、今年で4年目になります。活動を始めて2~3カ月後には、目に見えて歩道や緑道に捨てられるゴミが少なくなり、歩行者やマンション住人の環境への意識も少し前向きになってきたことを実感させられました。草木や花木をただ育てるだけでなく、自分たちの住む街を愛する思いが活動のパワーになっていくのだと思っています。私たちの会はまだまだ発展途中ですが、これからは今まで以上に組織化をして、若い世代にももっと参加してもらえるようにしていきたいと思っています。

みんなで育てる東京の道 東京ふれあいロード・プログラム

TR-mag. Focus

参加団体訪問-23 湯島花いっぱいの会(文京区)

環境に対する意識は年々高まり、道路空間にもうるおいと安らぎが求められています。私ども公社では、地域住民の皆様のボランティアによる快適な道路環境づくりを目指す東京都の「東京ふれあいロード・プログラム」に協力しています。このプログラムは、道路の清掃や植栽の手入れなどの道路美化活動を、地域住民の力や地元自治体、企業団体と東京都が協力しあって進めていくプログラムです。平成23年4月1日現在、この「東京ふれあいロード・プログラム」に参加してくださっている団体は121団体です。公社ではこのプログラムに参加する団体に対し、清掃グッズやジャンパー等を支援、活動費用の助成をしています。このコーナーでは「東京ふれあいロード・プログラム」の参加団体の活動を紹介しています。今号は、文京区の湯島ハイタウン周辺で活動されている「湯島花いっぱいの会」を訪問いたしました。

水道の蛇口が3カ所設置されているので、夏場の水やりは比較的恵まれています。ただ通行する人が多いため、歩行者に迷惑をかけないように時間帯を選んで行っているそうです。

活動を始めた4年前は花選びや花壇づくりも手探りの状態からスタート。土が余まり良くなく岩盤に近い固いものだったため、最初の土壌改良はとても苦労されたそうです。

湯島花いっぱいの会の皆さん。植栽の活動日には10名前後の有志が集まります。

活動場所は湯島天満宮の向かいの湯島ハイタウン前の都道です。

湯島ハイタウンの前に行けば、きれいな花と出会える! 地域の人たちとのコミュニケーションが少しずつ密になっています。

街が少しでも明るくなるようにとの思いから、花壇は四季折々色鮮やかな花が植えられ、年々バラエティ豊かになってきています。

球根ができるチューリップやスイセンは、翌年には場所を変えて植えるそうです。自分たちで育てた花を継続して植えられることが活動の楽しみのひとつになっているとのことです。

湯島花いっぱいの会の活動を続けていく中で「文京区・緑百物語」の委員に選定され、2011年2月に冊子を発行。この冊子の制作にあたり、東京都道路整備保全公社は「みんなのやさしいみちづくり活動」の助成をしました。

TR-mag. focus Again!

このコーナーでは、東京ふれあいロード・プログラムにご登場いただいた団体のその後を紹介します。今回は№12で登場いただきました「グリーンロードシックス」です。

前回「グリーンロードシックス」をお訪ねしたのは、2008年の夏。六本木ティーキューブにある、日本サムスン、富士ゼロックス、日本IBMの有志ボランティアが中心となって、六本木通りなどで、歩道の清掃、植樹帯の管理をはじめ、夏には散水も実施。また、春・夏・秋の年3回、大規模清掃や植樹帯の草花の植替えを行っています。昨年8月には、これまでの地道な活動が評価されて、東京都の「夢のみち」事業で道路功労者の建設局長賞を受賞されました。これは活動に参加されている皆さんにとって大きな励みとなり、活動を続けていくパワーになっているそうです。

今年最初の「グリーンロードシックス」の活動日は、4月23日(土)でしたが、あいにくの雨のため中止となってしまいましたが、六本木通りの清掃や花壇の手入れなどの活動を楽しみにされていた皆さんのために、5月21日(土)に活動が延期されることになりました。今回、幹事会社の富士ゼロックスをはじめ、日本サムスン、日本IBMの担当者の方たちも「天候には流石に勝てませんね!」と、とても残念そうでしたが、より多くの皆さんに集まっていただけるように改めて準備を進めていくそうです。

会社間や家族の交流の場として、継続して温かい活動が行われています!

通りかかる人たちに季節の変化を感じてもらえるように、季節感のある花が植えられています!

ポイ捨てゴミが多かった場所もすっかりきれいになっています。きれいな花が咲いている抑制効果ですね!

参加者が楽しみにしている活動後の食事会。家族の交流や会社間の交流が積極的に行われています。

六本木という地域で活動している様々な団体がもっと交流を図っていくことで、六本木全体の地域貢献活動の輪が広がっていくと思っています。

日本サムスン株式会社
グリーンロードシックス担当
荻原泰邦さん

2007年に東京ふれあいロード・プログラムに認定していただき、それによって花壇に花を植えることができるようになりました。今では社員だけでなくご家族にも多く参加していただいています。日本サムスンも、ご家族での参加が多く、特に花壇の手入れをしたいという希望も出るようになっており、この活動に気持ちを込めて参加している社員が増えてきていることを実感しています。TRマガジンの取材の影響も大きいと思いますが、グリーンロードシックスの告知をすると、今年も家族で参加したいというリピーターも多くなっています。Green Road SIXは、会社間の交流に加え、家族にとっても良い触れ合いの場になっています。

富士ゼロックス株式会社
グリーンロードシックス担当
滝川 潔さん

活動を始めた当初は、参加者を惹きつけるためにいろいろな企画にトライしました。清掃に飽きさせないようにルートに変化をつけたり、清掃しながら名所旧跡を巡るようにしたり。6年目に入り、社内ではすっかり年中行事のように定着した感があります。今では年3回の活動を告知すると、素早く返事が返ってくるという嬉しい反応も多くなっています。また活動に継続して参加してくださっている方は、六本木一丁目に自分たちが住んでいる地域と同じような親近感を持ち、きれいにしたいという思いが強いみたいです。働く場を住む場と同じようにきれいで、心地良い場にしたいと考えている方が多いのだと思います。

■Green Road SIXの活動
活動/年3回の道路清掃と花植えと週1回の維持管理(植え込みの水やりやゴミ拾いなど)

次回の活動は、7月と11月を予定しています!

Green Road SIXの「SIX」は、日本サムスンの「S」、日本IBMの「I」富士ゼロックスの「X」と六本木にちなんだ「SIX」から誕生した団体名です。

New Open

公社駐車場がオープン！

布田三丁目駐車場

開場予定：平成23年7月1日

所 在 地 ／東京都調布市布田三丁目4-2先
収容台数／ 自動車　時間制23台
　　オートバイ　定期制15台
料　　金／ 自動車　時間制
　　30分100円（8時～22時）最大料金1,300円
　　60分100円（22時～8時）最大料金　300円
　　オートバイ　定期制
　　1カ月4,200円（税込）

●お問合せ先　事業部　営業推進課 企画開発係　03-5381-3388
※オープン日時、収容台数、駐車料金など変更する場合がありますので、最新情報はホームページ(http://www.tmpc.or.jp/)でご確認ください。

News

「オートバイ駐車場に関するアンケート」結果報告

TR東京都道路整備保全公社では、オートバイ駐車場の設置費用の助成やオートバイ駐車場の位置情報の配信など、社会問題となっているオートバイの違法駐車対策に積極的に取り組んでいます。
平成22年度に今後のオートバイ駐車場におけるサービス向上や、オートバイ駐車場の拡大に向け、アンケート調査を実施しました。その結果について、以下サイトで公開しています。

http://news.tmpc.or.jp/article/176624658.html

また、今回たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。
公社では、今回の調査結果を基に、今後もオートバイ駐車場整備、サービス向上を推進してまいります。

公社事業のブランドネーム「TR」

公社が取り組む事業の総称で、
「T」を東京・タウンを始めとする街並みの象徴として、
「R」を道路の象徴として表現しています。
「人もクルマも、ホッとする街づくり。」のスローガンには、
公益的な事業に取り組む公社の
思いが込められています。

東京都道路整備保全公社は、平成23年4月1日から、「公益財団法人」となりました！

TR東京都道路整備保全公社は、平成23年3月に東京都知事より公益財団法人としての認定を受け、平成23年4月1日から、新たに「公益財団法人 東京都道路整備保全公社」として事業運営を開始しました。

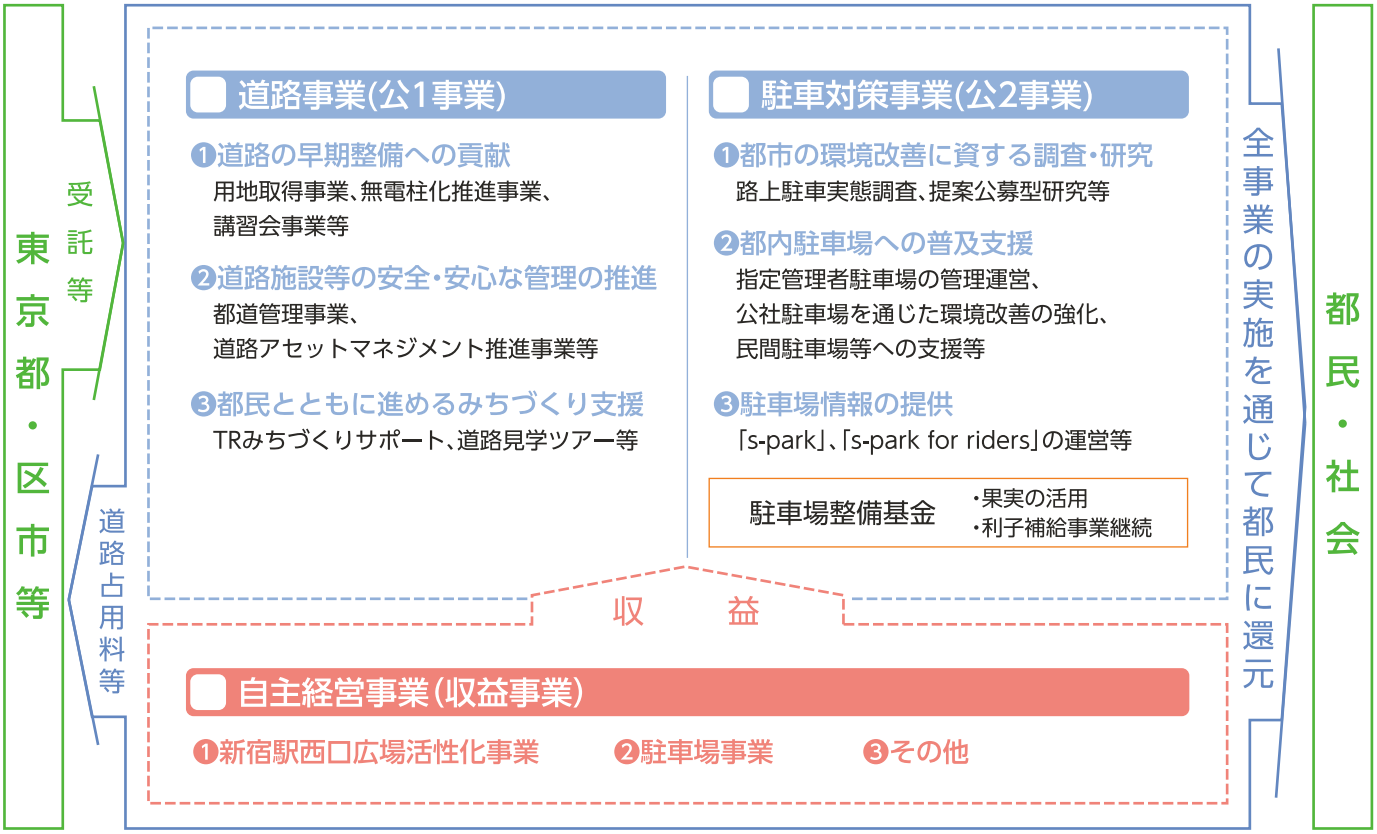
今後は、東京都の道路行政のパートナーとしての役割を積極的に果たしつつ、公益財団法人として、次に掲げる公益目的事業の更なる充実を図ってまいります。

道路用地取得事業、無電柱化推進事業などを通じて道路ネットワークの早期完成と防災機能の向上等に貢献するとともに、重要道路施設等の安全・安心な管理及び道路空間の付加価値向上、都民の皆様とともに進める様々なみちづくり支援を通じて「安全・快適な道路環境の創出」に取り組んでまいります。

また、指定管理者として管理運営する都営駐車場を活用し、違法路上駐車の削減及び環境負荷軽減に資する先駆的施策を積極的に実践するとともに、これらの施策を都内駐車場に広く普及するための事業者支援、「s-park」等の総合駐車場情報の提供を通じて「総合駐車対策の推進」に取り組んでまいります。

今後もより一層、都民の皆様、社会に貢献して参りますので、どうかよろしくお願いいたします。

■(公財)東京都道路整備保全公社の事業の仕組み



※公社の仕組みの詳細は、P19-20をご覧ください。

公益財団法人
東京都道路整備保全公社の仕組み

公社は、全ての事業を通じ、首都東京の再生と都市機能の維持増進、都民生活の向上に貢献しています。

http://www.tmpc.or.jp

受託等

東京都・区市等

道路占用料等

全事業の実施を通じて都民に還元

都民・社会

道路事業(公1事業)

❶道路の早期整備への貢献

1)道路用地取得事業

①都道用地取得業務の受託

首都東京の再生のため整備が急がれる骨格幹線道路のうち、新規事業認可路線の一部について、都道4路線及び計画道路に掛かるマンション敷地の道路用地取得業務を行っています。

②用地相談窓口の設置

関係人が抱える問題や不安を解消するための無料相談窓口を設置運営しています。

2)無電柱化推進事業

①東京都無電柱化事業の受託

東京都が平成18年12月に発表した「10年後の東京」に基づき推進する無電柱化事業に協力するため、平成19年度から都道の無電柱化事業を受託しています。

②区市町村無電柱化の技術支援

区市町村が「無電柱化推進計画」に基づき実施する無電柱化事業の業務を受託するとともに、事業に関する相談に対応するなど総合的支援を行っています。

無電柱化施工前

無電柱化施工後

③鉄道連続立体交差事業に係る側道整備等事業

平成22年度からJR中央線及び南武線の鉄道連続立体交差事業に係る側道等の整備を東京都及び武蔵野市から受託し、測量、詳細設計及び築造工事等を実施するほか、事業に係る借地等の管理、借地契約の更新や借地料の支払いを受託しています。

④工事監督の支援事業

安全で高品質な道路整備に貢献するため、都道工事における現場の施工管理や品質管理等の工事監督の補助業務を受託しています。

⑤土木材料試験事業

東京都の要請に基づき、都の業務の補完・代行を目的に公共工事等の使用材料の品質・信頼性を確保するため、アスファルト、コンクリート、骨材、鉄筋など土木工事用材料の品質試験を実施するとともに、新たに開発する材料の試験・検査も行っています。

ISO9001〈品質管理システム〉を認証取得しており、試験・検査の精度が良好であることを保証しています。

アスファルト混合物動的安定度試験

⑥講習会事業

道路整備に係る様々な事業の実施により蓄積した知識・ノウハウを社会に還元し、道路整備技術の更なる発展に貢献するため、東京都及び区市の職員等を対象として、マンション用地取得や無電柱化、工事の安全に関する講習会を実施しています。

工事事故防止安全講習会

3)道路アセットマネジメント支援事業

アセットマネジメントを活用した戦略的な予防保全型管理を推進するため、橋梁の長寿命化実施に向け、区市町村が行う、橋梁点検、健全度診断、寿命予測、アセットマネジメントシステム導入や「橋梁長寿命化修繕計画」策定等の様々な事業の受託及び関連技術の支援及びインハウスエンジニア育成等を行っています。

❷道路施設等の安全・安心な管理の推進

1)道路管理事業

①道路管理受託事業

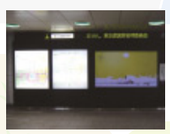
東京都から重要道路施設の管理や連絡業務を受託し、利用者に安全で快適な道路空間の確保に貢献しています。

環状八号線井荻・練馬トンネル

上野中央通り地下歩道

②総合案内情報提供システム(TIS)、プロムナード・ギャラリーの運営

道路空間の有効活用に向け、新宿副都心西口広場に設置した総合案内情報提供システム(TIS)や、絵画等の展示により地下歩行空間に賑わいとうるおいを創出するプロムナード・ギャラリーを運営しています。


総合案内情報提供システム(TIS)

新宿駅西口プロムナード・ギャラリー

2)都有地管理事業

東京都財務局及び建設局の財産管理業務として、都有地が行政需要に供されるまでの間、維持保全業務等を行い、適正な管理を行っています。また、都有未利用地の積極的な有効活用に向け、駐車対策への活用や、緑化等による最適な管理工法の実践的検証を行っています。

都有地除草作業前

都有地除草作業後

❸都民とともに進めるみちづくり支援

1)道路に関する助成事業

①「東京ふれあいロード・プログラム」への支援

東京都が実施する「東京ふれあいロード・プログラム」への支援として、活動資金の助成や団体名を入れたアドプトサイン(表示板)の製作・設置を行っています。

製作・設置を支援したアドプトサイン

②TRみちづくりサポート

道路環境改善活動に取り組んでいる団体やこれから活動する団体に対し、活動資金の助成を行っています。また、清掃用品、ジャンパー、手袋等の活動用具の提供支援を行っています。

「みんなのやさしいみちづくり活動」支援事業による、花壇の土壌改良

2)道路見学ツアー事業

都内の道路工事現場等を見学するツアーの実施を通じて、道路整備や維持管理の必要性をPRしています。

首都高中央環状品川線トンネル工事現場

(3)道路に関する普及啓発事業

道路愛護・交通に関する参加型イベント「夢のみち」事業を実施しています。

駐車対策事業(公2事業)

❶都市の環境改善に資する調査・研究

違法路上駐車や環境負荷軽減など、都市の環境改善に資する調査・研究を行っています。路上駐車実態調査や、EVカーシェアリングの普及拡大に向けたモデル事業の検証、提案公募型研究など、様々な調査を実施しています。

充電インフラとEVカーシェアリング「六本木駐車場」

❷都内駐車場への普及支援

1)指定管理者駐車場の管理運営

道路と一体構造である「東京都八重洲駐車場」など東京都駐車場6場(1,245台)において、指定管理者として安全かつ効率的な管理運営を行っています。また、先駆的施策の普及に向けた取組を総合的に実践しているほか、防犯・防災対策の強化や安全・安心、快適な駐車場づくりに取り組んでいます。

指定管理者駐車場「東京都八重洲駐車場」

①先駆的施策の実践

パーク＆メトロリンクバスライドの実施、カーシェアリングの普及拡大に向けた支援 等

②防犯・防災対策の強化

警察署・消防署と連携した実践的な防犯・防災訓練の実施、地域と協力した防犯パトロールの実施、「東京防犯優良駐車場」の認定継続 等

警察署と連携した実践的な防犯訓練「東京都東銀座駐車場」

2)公社駐車場を通じた環境改善の強化

指定管理者駐車場以外の公社駐車場においても、都市の環境改善に資する先駆的施策を展開しています。

・電気自動車充電インフラの整備
・駐車場の緑化や環境舗装等によるヒートアイランド対策の推進
・自然エネルギーの活用促進
・オートバイ駐車場のライブカメラ映像発信による交通円滑化

電気自動車充電インフラ(急速充電器・200V充電スタンド)「六本木駐車場」

緑化・ヒートアイランド対策モデル駐車場「ガーデンパーク六本木」(緑化、遮熱性舗装、太陽光発電等を実施)

3)民間駐車場等への支援

違法路上駐車及び都市の環境負荷軽減に寄与する先駆的施策を都内駐車場に広く普及するため、「駐車場整備基金」(平成16年3月廃止)の果実を活用し、民間駐車場事業者等への支援を行っています。

・自動二輪車用駐車場整備助成
・環境に配慮した駐車場整備助成
・満空情報発信端末設置支援
・駐車場名入りP看板設置助成
・各区独自事業助成
・駐車場整備基金利子補給事業

整備助成を行ったオートバイ駐車場

❸駐車場情報の提供

s-park Search Safety Service　都内駐車案内サイト「s-park」

都内駐車場の利用を促進し、違法路上駐車・うろつき交通の削減に寄与するため、駐車場情報を提供しています。民間企業の駐車場管理システム及び駐車場案内システムから提供される情報などをもとに、都内時間制駐車場のほぼ100%をカバーしており、約16,000場の駐車場位置情報、新宿、渋谷、池袋、六本木等を中心とした約4,000場の満空情報を、ホームページ、携帯電話(スマートフォンに対応)、カーナビゲーションを通じて案内しています。

s-park for riders Search Safety Service

都内オートバイ駐車場案内サイト「s-park for riders」

都内時間制オートバイ駐車場のほぼ100%をカバーし、約400場のオートバイ駐車場の位置情報及びライブカメラ映像による空き駐車場情報をホームページ、携帯電話(スマートフォンに対応)を通じて案内しています。

スマートフォンに対応

s-parkのしくみ

駐車場事業者等

s-park Search Safety Service

s-parkに民間企業及び駐車場案内システムからの駐車場情報を集約

ホームページ	携帯電話	ITカーナビ駐車場案内・誘導システム	VICS対応カーナビ
www.s-park.jp	www.i.s-park.jp	HONDA NISSAN	VICS

駐車場整備基金　・果実の活用　・利子補給事業継続

収益

自主経営事業(収益事業)

❶新宿駅西口広場活性化事業

明るく快適な地下歩行空間の確保、賑わいの創出や利便性の向上のため、新宿駅西口広場において、イベントコーナーの運営、プライトサインや環境写真の運営を行っています。

新宿駅西口広場におけるプライトサインの掲出

❷駐車場事業

都道高架下等の都有財産を借り受け、駐車場を設置し、適正に管理運営しています。

1)駐車場の管理運営

179場 8,850台(うちオートバイ受け入れ49場1,237台)

2)駐車場における公益的・先駆的取組の展開

30分未満駐車料金無料化の実施／荷さばき可能駐車場
荷物積み替え駐車場／カーシェアリング事業への支援
パーク＆バスライドの実施(新宿WEバス)
低公害車割引の実施／身体障害者割引の実施
「駐車場ユニバーサルデザインガイドライン」の反映

3)使いやすく快適で、安全・安心な駐車場づくり

お客様満足度の向上
防犯・防災対策の強化
荷物積み替え駐車場
消防署と連携した防災訓練の実施

「大曲荷物積み替えステーション」「西新宿第四駐車場」

❸その他

クロスワードパズルでリフレッシュ！

Crossword Puzzle

クロスワードパズル⑱

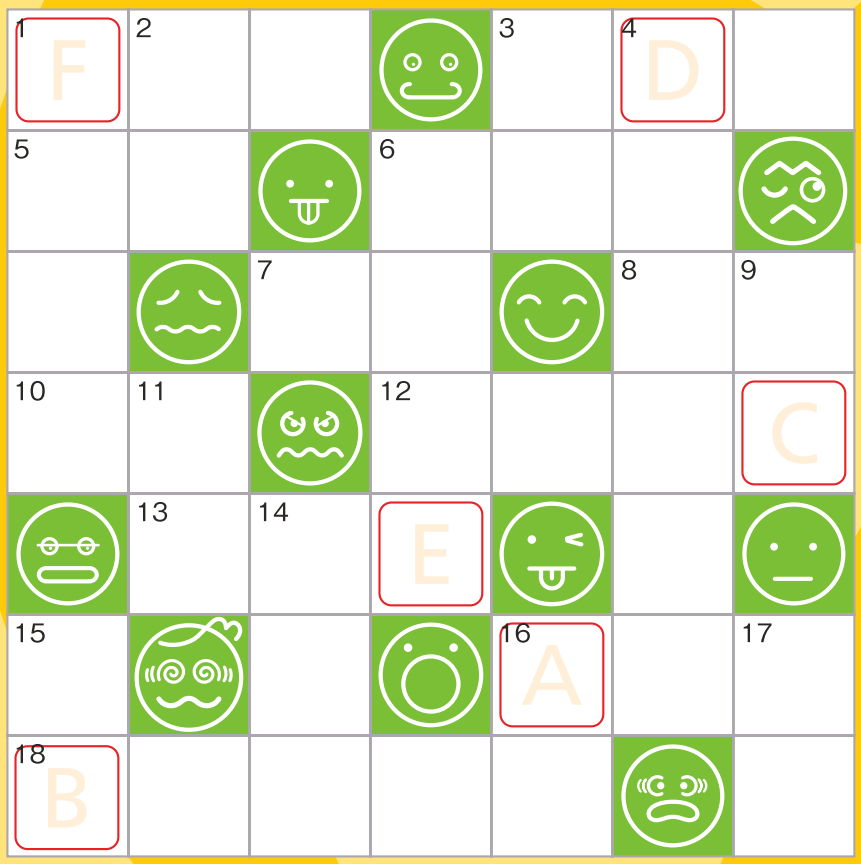
パズル制作

角田美里(つのだみさと／パズル作家)

15歳でパズル作家デビュー。現在、新聞、雑誌の連載やテレビ番組・映画に関する作品等、多数のパズルを制作する人気パズル作家。また、パズル作成講座の講師やイベント等、多岐にわたる多彩な活動をしている。単行本に『クロスワードプレミアム』(日本文芸社)『なぞなぞ2年3年生』(西東社)『四字熟語　最強のパズル』(KKベストセラーズ)『夢をかなえるしあわせクロスワードパズル』(ゴマブックス)『10才までに覚えておきたい、ちょっと難しい1000のことば　ザ・パズル』(アーバン出版局)など多数。
http://www.puzzle-crossword.info/

頭の柔軟体操で気分転換してみませんか？

★タテ・ヨコのカギを解いてパズルを完成させてください。
A〜Fの文字を順番に並べてできた言葉が答えです。



タテのカギ

1 梅雨時の雨が似合う花ですね
2 トンボの幼虫といえば？
3 大ピンチで、○○一髪！
4 降水確率や気温、花粉情報もチェックできます
6 日本の蔵などに使われている白い壁は○○○○が多い
9 短気は○○気といいますよ
11 これより高いものはないといいます
14 単品より○○○のほうがお得！
15 八分目には医者いらずです
16 一般的には8月、旧○○は7月です
17 大葉のことを○○ともいう

ヨコのカギ

1 いずれ○○○かカキツバタは優劣をつけがたい比喩として使われる
3 機関車や船舶が鳴らす笛ですね
5 ことが終わったあとの○○報告
6 アイドルを○○○距離から激写
7 梅雨時は○○度が高くなります
8 ○○をしっかり固めて応用へ
10 和食の料理人は○○さんと呼ばれることもあります
12 画用紙に絵を描く道具の1つです
13 ○○○で続けると良い結果は生まれない
16 日焼けや紫外線予防にかぶります
18 自動車の車内の後部に荷物を積めるようにした箱型の乗用車

Crossword Puzzle

パズルを解いてプレゼントをゲット!!

クロスワードパズル⑰の答え

1 ケ	ガ		2 ノ		3 シ	オ
ン		4 モ	ン	5 ジ	ュ	
6 コ	7 ロ	モ		ジ		8 フ
9 ク	ツ		10 イ	ツ	11 ト	ウ
	12 カ	13 ガ	ミ		14 シ	ケ
15 オ	ー	ラ		16 ヤ	ヨ	イ
チ		17 ス	イ	ジ		ガ

答えは「ガイロジュ」でした。

応募方法

クロスワードパズルの答えを、添付のプレゼント応募はがきの答え欄にご記入の上、ご希望のプレゼント商品名をお書きになり、ご応募ください。正解者の中からご希望のプレゼントを抽選いたします。当選者の発表はプレゼント商品の発送をもってかえさせていただきます。尚、パソコンや携帯からもご応募できます。詳しくは、P22に掲載のプレゼント応募方法をご覧ください。

答えは、TR-mag.24号にて発表

締切／2011年7月20日(締切当日消印有効)

※ご応募はお一人様一通一口とさせていただきます。
※応募者の個人情報は、当選者への発送、お問い合わせに必要な範囲内で利用し、同意なく第三者への提供は行いません。

RANDOM REVIEW
ランダム・レビュー

QUO CARD 坂本冬美さんのニュー・シングル「桜の如く」2011年5月17日に発売

今号の「さんぽのじかん」にご登場いただいた坂本冬美さんは、今年デビュー25周年を迎えます。デビュー25周年記念作品としてのリリース第1弾となる「桜の如く」は、冬美ファン待望の演歌作品です。日本人の心の花である“桜”のように力強く生きていこうというメッセージを込めた現代の応援歌で、元気とパワーをもらう人もきっと多いはずです。

Present For you
坂本冬美さんのニュー・シングル「桜の如く」発売を記念したクオカード(500)を5名様にプレゼント。詳細は応募方法をご確認ください。

BOOK 池波正太郎さんの現代小説『原っぱ』

本紙の『池波正太郎の舌鼓』(P13-14)では、食通作家・池波正太郎がこよなく愛した味や作品に出てくる料理などを文芸ジャーナリストの重金敦之さんが紹介しています。池波作品を紹介する「池波正太郎の一冊」コーナーもあり、盛りだくさんな内容となっています。

Present For you
『原っぱ』(新潮文庫刊)を3名様にプレゼント。詳細は応募方法をご確認ください。

GOURMET 前川のうなぎ佃煮

Present For you
「前川のうなぎ佃煮」(中袋)を5名様にプレゼント。詳細は応募方法をご確認ください。

食通の小説家・池波正太郎さんが通った老舗「鰻 駒形前川」には、鰻好きにはたまらない、“うなぎ佃煮”のお土産があったそうです。醤油、みりん等を使い、手作りで丁寧に作り上げられた前川のうなぎ佃煮は、添加物が一切入っていないため賞味期限も1週間と短く、また、夏場の配送も行っていないそうです。現在はお土産用として販売していないという、貴重な前川のうなぎ佃煮を秋以降のお届けでプレゼントします。

TR GOODS 公社オリジナル『特注トミカs-park都営バス』が新デザインになりました!

東京都道路整備保全公社で開催する様々なイベントで大人気のノベルティー『特注トミカs-park都営バス』のデザインが新しくなりました。ボディカラーも青空をイメージした明るいブルーになり爽やかです。また、公社が編集したライダーのための『都内オートバイ駐車場MAP'11』が完成！掲載駐車場数もより充実しました。

1 50名
2 50名

Present For you
東京都道路整備保全公社のオリジナルグッズ(❶❷〈非売品〉のいずれか1点)をプレゼント。詳細は応募方法をご確認ください。

東京を楽しむパブリック・マガジン
TR-magazine mag.

次号は2011年8月1日発行予定です。

公益財団法人 東京都道路整備保全公社
発行日／平成23年5月1日
発行元／公益財団法人東京都道路整備保全公社
住　所／〒163-0720 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル20階
TEL.03-5381-3361　FAX.03-5381-3355
公社ホームページ　http://www.tmpc.or.jp
企画制作・編集・デザイン／株式会社京王エージェンシー

プレゼント応募方法

Present For you Present for youマークのついたプレゼントをご希望の方は、専用応募ハガキに、P21のクロスワードパズルの答えをご記入の上、ご応募ください。また、下記のプレゼント応募アドレス、QRコードにアクセスし、ご応募もできます。尚、プレゼント商品の色、柄、デザイン等は写真と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

●応募締切／2011年7月20日(水)(専用応募ハガキによるご応募の場合は、締切当日消印有効)
●お一人様一口のみ有効です。

プレゼント応募アドレス

●パソコンからも携帯からも
http://www.tmpc.or.jp/present

プレゼント応募ページより
ご意見・ご感想もお寄せください。

※発表は発送をもってかえさせていただきます。
※応募者の個人情報は、当選者への発送、お問い合わせに必要な範囲内で利用し、同意なく第三者への提供は行いません。

QRコード
携帯電話から簡単アクセス!

※掲載データは2011年4月20日現在のものです。

TR-mag. ティーアール・マグ2011 SPRING No.23 平成23年5月1日発行 発行元／公益財団法人東京都道路整備保全公社 〒163-0720 東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 小田急第一生命ビル20階

公益財団法人
東京都道路整備保全公社

人もクルマも、ホッとする街づくり。

東京都道路整備保全公社は「公益財団法人」になりました

2011年4月1日より、東京都道路整備保全公社の正式名称が

「財団法人東京都道路整備保全公社」から

「公益財団法人東京都道路整備保全公社」に変わりました。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC™ C023103
FSC www.fsc.org